

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.899
2020.12.6

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	



市長等の 期末手当引き下げへ

12 月議会 議案質疑

11 月 26 日、12 月議会の議案に対する質疑がおこなわれ、神田よしゆき市議が登壇しました。神田市議は、市長等の特別職の期末手当引き下げ議案等について質しました。

神田 市長、副市長、教育長の期末手当の額と差額についてうかがう。

市 市長は現行で約 670 万 6000 円から約 660 万 7000 円へ（▲約 9 万 9000 円）、副市長は約 527 万円から約 519 万 3000 円へ（▲約 7 万 7000 円）、教育長は約 439 万円から 432 万 5000 円へ（▲約 6 万 4000 円）、それぞれ改定となる。

神田 議員はどうか。

市 議員ひとりあたり約 392 万円から約 386 万 1000 円へ（▲約 5 万 9000 円）改定となる。

神田 議会としては 3.40 月とした特別職報

酬審議会の答申を踏まえた条例の施行日を来年 4 月 1 日まで延長、3.30 月とし、実質的に値上げせずに来た。今回の条例改定を認めた場合、3.35 月となるため議員の手取りが増えるという認識でいいか。

市 議員の言うとおりで。

高齢者施設の新規入所者に PCR 検査費用を補助

神田 高齢者施設の対象施設と対象者は。

市 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症グループホームの新規入所者で約 2600 名。一人あたり 2 万円の補助。ショートステイやデイサービスの利用者は対象外。

神田 施設職員など、市独自で PCR 検査の

次期総合 振興計画



継続審査となっていた「さいたま市総合振興計画基本計画の策定」の審査がおこなわれ、11 月 26 日、党市議団から金子あきよ市議が反対の討論に立ちました。

本計画は 2021 年度から 10 年間の本市の基本計画です。しかしこの基本計画は新型コロナが流行する前につくられた計画であり、新型コロナが社会にもたらす影響を考えると見直しが必要です。

コロナ危機ふまえ 見直しを

金子市議は「医療・保健・子育て・教育の分野は新型コロナによって多くの課題が浮きぼりになったが、次期計画では対応が不十分」として、政令市中最下位の人口あたりの医師数・看護師数・病院ベッド数であること、保健所が 1 カ所のみであること、そして子どもに関わる公共施設で社会的距離を保てず、少人数学級を計画的に進めること等が必要だが、それらの対策が計画に明記されていないことを指摘しました。

そして「これまで 2 都心 4 副都心計画に 6000 億円近い税金がつぎ込まれてきたが、財政・まちづくりのゆがみに無反省なまま次期計画でも同じ将来都市構造を続けることは認められない。10 区の均衡を図り、本市のどこであっても住みよいまちづくりをすすめるべき」として、反対しました。

■ 2020 年 12 月議会 議案採決表 (○=賛成、×=反対)

	共産	民主 改革	公明	さいたま 自民	自民 さいたま	自民 彩成会
令和 2 年度市一般会計補正予算 (高齢者施設の新規入所者への PCR 検査費用補助)	○	○	○	○	○	○
さいたま市総合振興計画基本計画の策定	×	○	○	○*	○	退席

※一部退席

対象を広げる考えはあるか。

市 市民が体調不良になったときはかかりつ

け医で検査を受けられる体制が整いつつあるため、そちらを利用してほしい。

本会議 補正予算討論

PCR 検査対象の 拡大さらに



11 月 30 日、たけこし連市議が先議分の議案について討論をおこないました。

「令和 2 年度さいたま市一般会計補正予算（第 17 号）」の「老人福祉執行管理事業」は、高齢者の新型コロナウイルス感染症の重症化抑制、高齢者施設のクラスター防止のために高齢者施設の新規入所者を対象に、PCR 検

査を希望する人に 2 万円を上限に補助するものです。予算額は 5200 万円です。

たけこし市議は事業の必要性は認めるとしつつも「市内実施の PCR 検査の自費費用は 1 万 5000 円～3 万 5000 円であり、自己負担が発生する可能性があること」「本市発生の高齢者施設内でのクラスターで新規入居者が感染源となった事例は 1 件もなく、む

しろ職員などが感染源となっている。ショートステイ利用者や施設職員が検査対象から除外されるのは不十分だ」と指摘しました。検査対象の拡大は党市議団としても求めてきたことでもあり、市も「今後、対象拡大について検討する」と答弁していることをふまえ、賛成しました。他党派も賛成し、可決しました。

道路の冠水対策を 大宮区 求めて

交渉する住民と神田市議（中央）



11 月 19 日、大宮区櫛引 1 丁目の切敷川周辺の住民が下水道管理課（北部建設事務所）に道路等の冠水対策を要望し、党市議団から神田よしゆき市議が同席しました。

この地域ではこの間、豪雨のたびに道路冠水や浸水による家屋の被害が出ています。昨

年の台風 19 号の際は車庫、家屋内、コンビニの店舗の奥まで浸水したり、汚水管から汚物があふれて散乱したり、大量のごみが堆積するなどの環境被害が出ました。そのため、道路冠水への対策を求めました。

下水道管理課は、住民の要望に対して①全体の治水対策は下水道計画課でおこなっていること②下水道管理課としてはバス通りから自治会館前通りの雑草に対して防草シート工事をおこなう③豪雨被害後の汚物等散乱の場合の消毒の実施、汚水配管のつまりの点検を早急に行う、との提案がありました。

住民としては、あらためて治水対策をおこなっている下水道計画課との交渉をおこなうことにしました。党市議団としても解決のために全力を挙げます。

北部医療センターを守ろう シンポジウム開かれる



11 月 27 日、さいたま北部医療センターを充実・発展させる会主催で「公立・公的病院『再編統合』を考えるシンポジウム」が開かれ、党市議団から神田よしゆき市議が参加しました。

同センターは昨年 3 月に新病院として移転したばかりですが、厚生労働省から「再編統合の議論が必要」と名指しされています。4 名のパネリストが発言し、立憲民主党の阿部知子衆院議員（小児科医）は「国の医療体制上の課題として 5 疾病（がん、心疾患、脳卒中、小児、精神）をあげているが、感染症が入っていない。その結果、感染症病床は 1 万 5000 床から 1900 床に激減した」と

告発しました。

また、医療・介護労働組合の藤田省吾書記長からは、コロナ禍での厳しい現場の実態が、NPO 法人医療制度研究会副理事長の本田宏医師からは日本の医師数の少なさと医師確保の必要性がそれぞれ述べられました。最後に日本共産党の梅村さえこ前衆院議員が「北部医療センターを守り、ケアに手厚い社会をつくろう」と呼びかけました。

あなたの身近な議員です



市議（北区）

神田よしゆき



市議（浦和区）

とりうみ敏行



市議（緑区）

松村としお



市議（桜区）

久保 みき



市議（見沼区）

とばめぐみ



市議（南区）

金子あきよ



市議（中央区）

たけこし連